

2021年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月14日

上場会社名 アートグリーン株式会社
 コード番号 3419
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 定時株主総会開催予定日 2022年1月29日
 有価証券報告書提出予定日 2022年1月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 (氏名) 田中 豊
 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期の連結業績(2020年11月1日~2021年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	2,073	11.9	21	9.6	33	7.4	15	810.3
2020年10月期	1,853	△8.4	19	△53.9	31	△24.9	1	△90.2

(注) 包括利益 2021年10月期 15百万円(914.3%) 2020年10月期 1百万円(△91.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	13.22	12.78	3.3	2.9	1.1
2020年10月期	1.46	1.40	0.4	3.0	1.1

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 0百万円 2020年10月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	1,146	462	40.3	407.34
2020年10月期	1,148	446	38.9	394.17

(参考) 自己資本 2021年10月期 462百万円 2020年10月期 446百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	27	△38	△79	191
2020年10月期	△27	△207	303	281

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日~2022年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,051	3.2	9	△36.9	8	△59.3	3	△64.0	3.12
通 期	2,126	2.6	36	65.2	33	1.9	17	19.6	15.80

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期	1,136,000株	2020年10月期	1,134,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期	242株	2020年10月期	242株
③ 期中平均株式数	2021年10月期	1,135,561株	2020年10月期	1,131,817株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大の影響が長期化し、事態の完全収束は未だ予測できない状況にあるものの、各種政策やワクチン接種による新規感染者数の減少により、2021年9月末には緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が全て解除されるなど、活動制限の緩和による経済活動の正常化に向けた動きが期待されてまいりました。

しかしながら、ワクチン接種後に感染する事例や世界中で新たな変異株の発生等による感染再拡大の懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続くと想定されます。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2020年11月から2021年10月までの、らん鉢（胡蝶蘭）取扱金額は3,732百万円（前年同期比10.9%増）で、新型コロナウイルス感染症が発生する前の一昨年とほぼ同等の取扱金額で推移いたしました。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客に対する販売促進に注力いたしました。政府の様々な政策やワクチン接種の促進を背景に、企業間の贈答や各種イベント等も少しずつ正常化に向けて動きはじめ、緊急事態宣言等の行動制限が解除された2021年10月以降は、以前のような訪問営業活動も少しずつ再開することが出来ました。ブライダルにつきましては、昨年からの結婚式の延期、再延期等により厳しい状況が続いておりましたが、小規模披露宴に変更する等、コロナ禍の顧客需要の変化に対応し、徐々に回復基調で推移しはじめました。これにより売上高は市場統計同様に前年同期比増となりました。

ナーセリー支援事業におきましては、昨年同様にオリジナル園芸資材の販売強化に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。

フューネラル事業は、大都市圏を中心とした核家族化や葬祭規模の縮小等により葬儀単価の減少傾向が続き、更に新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いておりますが、新規顧客開拓及び既存顧客に対する販売促進に注力したことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は2,073,210千円（前年同期比11.9%増）、営業利益は21,837千円（前年同期比9.6%増）、経常利益は33,350千円（前年同期比7.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は15,009千円（前年同期比810.3%増）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、企業間の贈答や各種イベント、ブライダル等も徐々に回復基調で推移しはじめたことから、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は1,310,713千円（前年同期比9.3%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き当社オリジナル園芸資材の販売強化に注力し、新規顧客開拓及び既存取引先からのレポート注文も増加したことから、売上高は堅調に推移いたしました。

しかしながら、園芸資材の原材料の高騰により輸入コストの上昇や、世界的に物流の混乱が生じている影響から輸送遅延等も続いており、商材の確保や受注数量の調整が一時的に困難な時期もあり、販売価格や配送料の見直し等も行いました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は610,791千円（前年同期比12.4%増）となりました。

（フューネラル事業）

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓及び既存顧客に対する販売促進に注力いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いておりますが、新規顧客開拓及び既存取引先への細かなサービス提供等により、売上高は堅調に推移いたしました。

葬儀業界全体の環境としましては、今後も葬儀件数は増加するものと推計されている一方、大都市圏を中心に家族葬や密葬等、葬儀の小型化により葬儀単価が減少しており、当社においても同様に単価の下落傾向が続いております。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は151,705千円（前年同期比37.7%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,814千円減少し、1,146,749千円となりました。

流動資産は979,934千円となり、前連結会計年度末と比較して35,409千円減少しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が42,700千円、仕掛品が15,493千円それぞれ増加したものの、現金及び預金が87,600千円減少したことによるものであります。

固定資産は166,814千円となり、前連結会計年度末と比較して33,594千円増加しました。この主な要因は、のれんが3,081千円減少したものの、ソフトウェアが25,982千円、建物及び構築物が6,196千円、保険積立金が4,154千円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して17,561千円減少し、684,106千円となりました。

流動負債は376,668千円となり、前連結会計年度末と比較して72,642千円増加しました。この主な要因は、買掛金が23,272千円、1年内返済予定の長期借入金が10,290千円、未払金が15,139千円、未払法人税等が20,698千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は307,438千円となり、前連結会計年度末と比較して90,203千円減少しました。この主な要因は、社債が20,000千円、長期借入金が69,224千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は462,642千円となり、前連結会計年度末と比較して15,746千円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が15,009千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して90,635千円減少し、191,095千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは27,674千円の収入（前連結会計年度は27,431千円の支出）となりました。この主な要因は、売上債権の増加額が42,700千円、たな卸資産の増加額が18,472千円、法人税等の支払額が4,262千円となったものの、税金等調整前当期純利益の計上額が33,350千円、仕入債務の増加額が23,272千円、未払金の増加額が7,893千円、減価償却費の計上額が11,514千円、法人税等の還付額が11,507千円、貸倒引当金の増加額が6,517千円、賞与引当金の増加額が4,168千円となったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは38,734千円の支出（前連結会計年度は207,614千円の支出）となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出が21,850千円、有形固定資産の取得による支出が10,016千円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは79,574千円の支出（前連結会計年度は303,744千円の収入）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入が70,000千円となったものの、長期借入金の返済による支出が128,934千円、社債の償還による支出が20,000千円となったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社の主力であるフラワービジネス支援事業を中心に、既存事業の更なる拡大を図るとともに、その周辺事業への新たな取り組みとして、観葉植物の自社生産販売や園芸資材の拡販を加速させていくために、優秀な人材の確保と育成、社内管理体制の強化、業務プロセスの改善によるコスト削減を図りつつ、経営資源の集中と業務の効率化を通じて収益力の強化に努めてまいります。

次期(2022年10月期)の業績見通しにつきましては、売上高2,126,845千円（前年同期比2.6%増）、営業利益36,077千円（前年同期比65.2%増）、経常利益33,998千円（前年同期比1.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益17,944千円（前年同期比19.6%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623,780	536,179
受取手形及び売掛金	230,654	273,354
商品及び製品	38,075	41,097
仕掛品	112,163	127,656
原材料及び貯蔵品	153	110
前払費用	10,911	12,980
その他	18,031	13,498
貸倒引当金	△18,425	△24,942
流動資産合計	1,015,343	979,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,033	14,230
減価償却累計額	△2,430	△3,955
建物及び構築物（純額）	5,602	10,274
工具器具及び備品	16,407	19,007
減価償却累計額	△12,665	△16,597
工具器具及び備品（純額）	3,742	2,410
土地	2,590	2,590
リース資産	6,808	6,808
減価償却累計額	△2,222	△3,194
リース資産（純額）	4,585	3,613
その他	977	2,197
減価償却累計額	△854	△1,295
その他（純額）	122	902
有形固定資産合計	16,644	19,791
無形固定資産		
ソフトウェア	2,931	28,914
のれん	25,422	22,340
その他	6,167	3,758
無形固定資産合計	34,520	55,013
投資その他の資産		
投資有価証券	11,792	14,607
敷金及び保証金	20,155	18,351
保険積立金	40,463	44,617
破産更生債権等	8,318	8,318
繰延税金資産	8,631	11,583
その他	1,011	2,849
貸倒引当金	△8,318	△8,318
投資その他の資産合計	82,054	92,010
固定資産合計	133,220	166,814
資産合計	1,148,564	1,146,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,715	84,987
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	122,152	132,442
リース債務	950	992
未払金	47,157	62,296
未払費用	13,453	14,939
未払法人税等	2,352	23,051
未払消費税等	15,018	11,055
賞与引当金	11,753	15,921
株主優待引当金	3,090	3,238
その他	6,383	7,742
流動負債合計	304,025	376,668
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	373,751	304,527
リース債務	3,805	2,825
その他	86	86
固定負債合計	397,642	307,438
負債合計	701,668	684,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,188	140,336
資本剰余金	92,173	92,321
利益剰余金	214,001	229,011
自己株式	△465	△465
株主資本合計	445,898	461,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	997	1,438
その他の包括利益累計額合計	997	1,438
純資産合計	446,896	462,642
負債純資産合計	1,148,564	1,146,749

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	1,853,127	2,073,210
売上原価	1,064,404	1,232,091
売上総利益	788,723	841,119
販売費及び一般管理費	768,795	819,282
営業利益	19,927	21,837
営業外収益		
受取利息	89	313
受取配当金	244	295
受取助成金	12,184	9,922
保険解約返戻金	1,818	—
為替差益	—	2,567
持分法による投資利益	—	998
その他	862	530
営業外収益合計	15,200	14,628
営業外費用		
支払利息	1,951	2,457
社債利息	111	69
為替差損	366	—
持分法による投資損失	806	—
その他	847	588
営業外費用合計	4,083	3,115
経常利益	31,044	33,350
特別損失		
たな卸資産処分損	19,907	—
特別損失合計	19,907	—
税金等調整前当期純利益	11,137	33,350
法人税、住民税及び事業税	5,878	21,487
法人税等調整額	3,609	△3,146
法人税等合計	9,488	18,340
当期純利益	1,648	15,009
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,648	15,009

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益	1,648	15,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	440
その他の包括利益合計	△125	440
包括利益	1,523	15,450
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,523	15,450
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	139,732	91,717	212,352	△465	443,337
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	456	456			912
親会社株主に帰属する当期純利益			1,648		1,648
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	456	456	1,648	—	2,560
当期末残高	140,188	92,173	214,001	△465	445,898

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,123	1,123	—	444,460
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				912
親会社株主に帰属する当期純利益				1,648
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△125	△125	—	△125
当期変動額合計	△125	△125	—	2,435
当期末残高	997	997	—	446,896

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	140,188	92,173	214,001	△465	445,898
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	148	148			296
親会社株主に帰属する当期純利益			15,009		15,009
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	148	148	15,009	—	15,305
当期末残高	140,336	92,321	229,011	△465	461,204

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	997	997	—	446,896
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				296
親会社株主に帰属する当期純利益				15,009
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	440	440	—	440
当期変動額合計	440	440	—	15,746
当期末残高	1,438	1,438	—	462,642

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,137	33,350
減価償却費	5,997	11,514
のれん償却額	3,081	3,081
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	457	6,517
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,906	4,168
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	942	148
受取利息	△89	△313
受取配当金	△244	△295
保険解約返戻金	△1,818	—
受取助成金	△12,184	△9,922
支払利息	1,951	2,457
社債利息	111	69
為替差損益 (△は益)	366	△2,567
持分法による投資損益 (△は益)	806	△998
営業保証金の支出	—	△500
売上債権の増減額 (△は増加)	3,177	△42,700
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,729	△18,472
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,393	23,272
前渡金の増減額 (△は増加)	9,187	—
未払金の増減額 (△は減少)	△1,714	7,893
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,433	1,489
その他	7,167	△5,551
小計	869	12,641
利息及び配当金の受取額	328	393
利息の支払額	△1,966	△2,527
助成金の受取額	—	6,939
雇用調整助成金の受取額	12,184	2,983
法人税等の支払額	△38,986	△4,262
法人税等の還付額	138	11,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,431	27,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△207,069	△6,034
定期預金の払戻による収入	9,203	1,800
投資有価証券の取得による支出	△135	—
非連結子会社株式の取得による支出	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△3,947	△10,016
無形固定資産の取得による支出	△6,023	△21,850
敷金及び保証金の差入による支出	—	△197
敷金及び保証金の回収による収入	263	150
保険積立金の積立による支出	△6,697	△1,586
保険積立金の解約による収入	6,791	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,614	△38,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	912	296
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入れの返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	440,000	70,000
長期借入れの返済による支出	△116,251	△128,934
リース債務の返済による支出	△916	△936
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	303,744	△79,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,699	△90,635
現金及び現金同等物の期首残高	213,032	281,731
現金及び現金同等物の期末残高	281,731	191,095

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり純資産額	394.17円	407.34円
1株当たり当期純利益	1.46円	13.22円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	1.40円	12.78円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,648	15,009
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,648	15,009
普通株式の期中平均株式数(株)	1,131,817	1,135,561
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	41,968	39,294
(うち新株予約権(株))	(41,968)	(39,294)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。